

帰山議員

新年度予算編成について

問 予算の編成方針を問う。また、編成過程の公表と、枠予算を導入すべき。

答 新年度予算編成方針の基本的な視点としては、第5次勝山市総合計画の「エコ環境都市の実現」「子育て環境モデル都市の実現」、人間性豊かな教育環境の実現「健康長寿のまち勝山の実現」、スポーツの振興」「循環型農業の推進、林業及び水産業の振興」「働く場の確保、まちづくり観光の推進」「雪などの災害に強いまちづくりの推進、交通体系の整備」の6項目を位置付け、これらに重点配分する予算編成を行っていききたい。

当市の予算編成は、各事業において1件1件箇所ごとに積み上げを行っている事業、例年の所要金額により配分を行っている事業など様々であり、箇所付け、予算額の積算内訳などを公表することは困難。今後、他市の状況を研究し、予算編成過程の公表について検討していく。

行政運営を行っていく過程においては、予算編成時には見込みのない経費もあるため、枠予算を持つことにより、より効果が見込め

その他の質問
・委員会・審議会の設置について
・勝山市の便益施設について

ると考えられる分野については、今後、枠予算導入を検討していく。

福井社会保険病院について

問 存続に向けての現在の法的状況を問う。また病院機能の充実・存続に向けての支援が必要でないか。

答 現在、福井社会保険病院は独立行政法人「年金・健康保険福祉施設整理機構」傘下の病院であり、平成26年4月1日に地域医療機能推進機構法が施行されると、新たに改組された推進機構の一員として再スタートされる。新機構移行までのあと1年半が、地域として社会保険病院に対する支援が最も必要な時と考えているため、奥越二次医療圏の存続に向け、大野市や医師会などと連携した取り組みを強化するとともに、市民向けにも地元で受診できる医療は地元でと周知する機会を設けていく。



社会保険病院 認定書

下道議員

市の婚活事業と「かつやま街コン」について

問 市の福祉事業の中で、男女の出会いの相談や、いろいろなイベントを企画する「結婚相談室」があるが、この3年間の実績を問う。

また、出会いに苦労する若者のために今、全国各地で開催されている「街コン」の企画はどうか。市内外の若者を勝山に呼び、出会いの場を創出する「街コン」は商店街・飲食店の協力を必要とする。市で町の活性化も図ることができると。市の考えを問う。

答 結婚相談室の来室実績は、平成21年度104件、平成22年度67件、平成23年度91件。婚姻成立数は、平成21、22年度各3組、平成23年度5組となっている。

「かつやま流・街コン」の企画実施については、地域の協力が何より必要であるため、今後、実施の可否も含め種々研究してまいりたい。

中学校再編について

問 現在、勝山中部中に3校集める1校案と、勝山中部中と勝山北部中を再編し1校とし、勝山南部中との2校にする案の2つが出てい

その他の質問
・子育てにやさしい企業認証制度について
・赤ちゃんの駅（まちなかキッズルーム）について
・電子図書館サービスについて

る。小規模校であっても、学力的には全然問題がなく、それ以上に少人数だからできる特徴ある活動を行っている。どうして今急いで再編しなければならないのか。また地域抜きに一方的な再編は疑問であるため、市民にもっと浸透してから決めるべきと考え、市の見解を問う。

答 「勝山市の小中学校の望ましいあり方検討委員会」報告書では、学級人数の適正規模の目安は30人程度、中学校においては、1学年4学級以上ある学校に統廃合するのが望ましいとしており、この考え方を基本に進めている。平成22年度より、座談会、市長となんでも語ろう会、校区別意見交換会を開催し、保護者や市民の方々と意見交換を行っている。今後も地域からの意見、市議会の意見等をお聞きし進めていく。



市内3中学校